

平成27年度 第2回宝塚市立図書館協議会(先進地視察)(報告)

1 先進地視察日時及び場所

平成27年10月14日(水) 12時10分～17時10分 (マイクロバスで往復)
福知山市立図書館 中央館 (視察時間: 13時30分～15時30分)

2 参加者

委員(6名) 梓委員、柳委員、中委員、石丸委員、平井委員、野田委員
事務局(7名) 社会教育部長(大西部長)
中央図書館(森館長、藤野係長、花村係長、栗井)
西図書館(西田館長、藏野係長)

3 報告等

[1] 事務局からの事前説明 (往路の車中にて)

(事務局)

(当日配布資料: ホームページからの図書館案内資料等)

- ・福知山市は、平成18年に合併し、現在の人口は約8万人余となっています。
(旧の福知山市、三和町、夜久野町、大江町の1市3町合併による市域の拡大)
以前の図書館は、福知山市役所横の市民会館の1階にありましたが、平成26年6月に、JR福知山駅前の「市民交流プラザふくちやま」の中に移っています。
- ・統一されたデザインで、ロゴにも工夫がされています。
- ・蔵書にはICタグが貼付されていて、自動貸出機、自動収納書庫が設置されています。
なお、予約本については、自動貸出ではないかもしれません。
- ・建物は複合施設で、1階と2階が図書館で、3階と4階が公民館・市民会館等に移転させた新たなスペースとなっています。また、4階には、乳幼児を一時預かってもらえるスペースもあります。

[2] 視察内容

[当日提供を受けた資料]

図書館利用案内、パンフレット(福知山市立図書館)、パンフレット(市民交流プラザ ふくちやま)、概要説明書(市民交流プラザ ふくちやま)

(ア) 福知山市立図書館 中央館からの説明

(中央館館長)

[施設面について]

- ・中央館は、北近畿の玄関口である福知山駅前に「まちと人、人と人をつなぐ交流空間の

創造」をコンセプトとした複合施設「市民交流プラザふくちやま」の1、2階に平成26年6月にオープンしました。

- ・建物の全面がガラスで、1階も外側から見えるし、2階の窓側にはイス席が配置されており、外側から見える。
 - ・1階と2階は図書館スペースで、3階と4階は公民館スペースで人と人が交流できるようにイメージされている。
- (注：延床面積2671.81㎡、1階：1071.57㎡、2階：1600.24㎡)
- ・駐車場スペースは100台分とっているが、100台でも足りない状況である。もう少し確保したかったが、近隣との関係で現状となっている。
 - ・図書館の家具類については、建物のコンセプトと密接な関連があるので、同じデザイナーが発注した。契約面では、建設工事と家具設置工事となる。
 - ・施設の設計面では、(株)安井建築設計事務所が担当し、グッドデザイン賞を受賞しています。
 - ・家具やサインについてですが、基調は白で床は緑としていて、芝の上に家具があるというイメージになっています。
 - ・建物の外側のガラス面が広くて、西日が入ってくるので本の痛みが心配されるが、ブラインドは整備しています。
 - ・パソコンが利用できるスペースには高校生の利用も多く、1階の図書館のいこいのへやでは飲食可能とし、利用者しやすくしている。

[各フロアの概要について]

- ・1階は、児童図書、児童絵本のフロアで、児童が少しぐらい騒いでも大丈夫なよう考えられており、事務所、トイレがあり、児童用書架が配置されています。トイレはそれぞれの世代ごとに、子ども用、大人用、障がい者用に設置されています。また、移動図書館車の駐車場や、飲食ができる所（壁の向こうの喫茶店から注文も可能）もあります。児童用の書籍では、バリアフリー用のものも置かれています。
- ・2階は、一般図書のフロアで、新聞・雑誌コーナー、郷土資料・レファレンスコーナー、一般図書コーナーのほか、閉架書庫・自動書庫、研修室（間仕切りがあって、2つの部屋としての利用も可能）などがあります。家具は白が基調になっています。中央館で備えるべき蔵書数を30万冊と考えており、オープン当時は16万冊で、現在に至っていますが、閉架書庫・児童書庫で20万冊の収納スペースがあります。
- ・3階は、生涯学習ゾーンで交流・創作・支え合いのフロアとなっており、中央公民館事務室、ハートフルスペース（憩いの場）、市民交流スペース、視聴覚室、会議室などがある。シースルーで中の動きがわかるようになっている。ロビー等の無料スペースと、使用する場合は有料のスペースに分かれている。
- ・4階は、交流・就職支援のスペースで、京都府北部の総合就業拠点となっています。保育ルームも設置されており、施設利用者のための乳幼児一時預かりサービスが行われ

ており、図書館利用者も空いておれば保育ルームの利用が可能です。

〔貸出対象等について〕

- ・建設にたずさわる議論の中で、貸出を福知山市民だけにするのか、もっと拡大するのかという点ですが、理事者としては、広く日本全体という案でしたが、結論としては、兵庫県、京都府を含めて、3但地域（丹波、但馬、丹後）の16市町が貸出対象となっています。
- ・市外も貸出対象にという方針で、以前に、図書館協議会で協議しており、新しい任期の委員になってから1年経過するが、今の所、特に異論等はない。
ただ、福知山市民にとっては、他の地域の利用者が利用する分、遅れて順番が回ってくるのは否定できない。

〔高校生の利用について〕

- ・本市の人口は8万弱ですが、高校生の自習等の利用がかなり多い。本市は、近隣とのつながりが強く、高校は7校あり、公立は4校となっている。
- ・駅前のゲートを通ってすぐの位置にあり、中でしていることが見えて、オープンスペースやフリースペースが広くとってあり、高校生の利用も多い。

〔建設・オープンの経過について〕

- ・平成17年度に、1市3町の合併に際して策定した「新都市建設計画」における基幹事業の一つとして、「(仮称)北近畿の都センター」(6階建)の建設が位置づけられる。
- ・その後、平成20年度に、一旦、計画が凍結されたが、市民検討会議で検討が行われ、平成22年4月に市長あて報告書が提出され、平成22年12月に基本計画案が公表され、市民の意見等も踏まえて建設された。

〔自然災害に対する対応について〕

- ・平成25年の18号台風により、大江分館が水損等の被害を受けた。床上約1.3mまで浸水し、約1万5千冊の蔵書のうち約1万冊が水損を受けた。水損図書処理や書架等の家具類の整理を、休館して全職員で行ったが、ボランティアの支援もあってありがたかった。
- ・平成26年8月の台風により福知山駅周辺を含めて、市域で大きな被害があり、「市民交流プラザふくちやま」も約1カ月間位、避難所となった。

(イ) 質疑等

(質問) (施設の管理者、運営方式について)

- ・市民交流プラザが竣工して、図書館以外の施設が平成26年4月21日にオープンし、その後6月に図書館が6月21日にオープンしていますが、施設の管理者は別という

ことですか。また、運営方式は市直営ですが、そのあたりの議論はどうでしたか。

(回答)

- ・公民館は施設の管理上は別になっています。
- ・本市の図書館は、北近畿のモデルとして、障がい者にもやさしいサービスを目指しており、本市の図書館業務全体を業者に提示したところ、経費面で直営の1.5倍はかかるという見込みであったので、指定管理は採用せず直営方式とした。

(質問) (利用状況について)

- ・以前と比べての利用状況について教えてください。平日は夜8時までの開館ですし。

(回答)

- ・貸出利用者、貸出冊数については、以前の約2倍に増えています。綾部市、舞鶴市、丹波市の利用者が多い。
- ・以前は、市役所横の市民会館1階で、ゆっくりとできなかつたが、現在の図書館では、落ち着いて本を読んだり、自習等も可能で、中高校生の利用も増えています。平日は午後8時までの開館で、塾に行く前の時間を図書館で過ごす高校生も多い。なお、土曜日、日曜日は、午後6時前になると利用者も少なくなるので、午後6時までの開館としています。

(質問) (保育ルームについて)

- ・保育ルームの利用について、詳細を教えてください。

(回答)

- ・運営にかかる費用については、京都府が分担している。平日の午前10時～午後5時まで、2名の保育士が配置されており、5人位を預かれる体制にある。毎日、何人かの利用があり、図書館利用者もあいておれば、無料で利用できます。

(質問) (高校生の利用について)

- ・高校生の自習での利用は増えていると思いますが、実際の貸出としては増えていますか。

(回答)

- ・図書館の場所を利用するに伴い、高校生の貸出は増えています。雑誌も200タイトルほどあり、ファッション雑誌なども見ている。
- ・自習等の利用が今以上に増えると、研修室を学習室に転用することも考えないといけないが、今の所現状で対応できている。

(質問) (図書館現場の意見等について)

- ・建物の設計に際して、図書館現場の意見等は反映されたか。また、施設面で気になる点やその他参考になる点があれば教えてください。

(回答)

- ・建物の設計については、市長部局の担当ですが、書架のレイアウト等については、図書館現場の意見を尊重するという形で進め、本庁との連絡会議に出席することはありました。書架については、既製品というものが無いので、建物に合わせた規格になります。
- ・2階の天井が高いので、電球が球切れした時には、職員では対応できなくて、取り換え修理費が必要になってくる。なお、LEDを使用しているので、長時間使用できるとは認識しているが。
- ・吹き抜けの構造になっており、音がするので、BGMを流したのだが、利用者からうるさいとの反応があり、それ以後は止めている。
- ・閉架書庫の本は自動書架で15分以内には貸出窓口に届くようになっており、故障等は今の所ない。
- ・予約本については、経費面のことも踏まえて、自動貸出は行っていない。
- ・個人の方から、図書館の資料整備費として、2億5千万円の寄贈があり、大変助かっており有効に執行している。

(ウ) 施設見学について

(中央館館長から説明があった内容以外で感じたことや、施設見学時に説明があったこと等)

- ・貸出業務について、自動貸出機の利用が全体の約90%である。
- ・視聴覚資料のうち、CD、DVDの貸出が行われていますが、DVDについては著作権の処理が行われているもので、1件あたりの購入単価は市販の価格の5倍程度になっています。
- ・児童用の書架は、高さが低く設定してあった。
- ・伊藤忠記念財団の協力を得て、マルチメディアDAISY図書の利用促進を図っている。約300タイトルが利用可能です。
- ・1階のトイレの横に専用の授乳室が整備されていました。
- ・利用案内を行うための機械は、できるだけ目立つところがいいとの考えで配置されていました。
- ・窓側に設置されているイスの高さは、高めに設定してあると感じました。
- ・書棚の上部に間接照明があり、天気の悪い日でも判別できると感じた。
- ・個人の貸出履歴が確認できるシステムとなっていました。

4 その他連絡事項等 (復路の車中にて)

(事務局)

- (1) 本日の視察で感じられたこと等については、次回の会議で意見交換を行いたいと思っていますので、まとめておいてください。なお、次回の会議は、2月頃を予定し

ています。

- (2) 今年度も読書講演会(第5回)を、平成27年12月13日に開催します。
なお、各委員には開催の案内を送らせていただきますのでよろしく申し上げます。
- (3) FMたからづかで、10月から3月までの予定で、毎週土曜日の午後5時から7分程度、「空中図書館」のコーナーで、図書館のPRを行っています。
- (4) 社会教育委員の会議で、現在、「市民が学習成果を生かしあう地域社会づくりのための社会教育施設（公民館・図書館）のあり方について」議論されており、12月中に答申が提出される予定ですので、次回の図書館協議会では、答申内容について報告させていただきたいと考えています。